

科目名	成人急性期看護学臨地教育実習Ⅰ Acute Care Adult Nursing Educational Practice Ⅰ			担当教員 (研究室番号)	玉田 章 (307) 長谷川 智之 (302)		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修年次	1年次後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数(時間)	3(90)	授業形態	実習	科目等履修生	否
科目目的	学部学生の臨地実習において教育実習を行い、臨地実習の基本的な構成や指導内容を把握し、臨地での学生教育における基本的な教育能力や指導能力を修得する。										
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。									
	関連するDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。									
到達目標	1. 同行する実習を履修する学生のレディネスを知ることができる。 2. 同行する実習のカリキュラム上の位置づけや、教育目的・教育目標・評価方法を知ることができる。 3. 同行する実習を実施する医療機関の特徴、特に実習病棟の入院患者や看護・医療の特徴を把握することができる。 4. 実習環境とは何かを理解し、その具体的調整方法を知ることができる。 5. 学生の看護実践や実習記録等について教育的活動を実践することができる。 6. 実践した教育活動を振り返り、看護における教育観の醸成につなげることができる。										
成績評価方法(基準)	実習内容、臨地実習指導記録簿、臨地教育実習報告書、学生への対応等を総合的に評価する。										
教科書	必要時、紹介する。										
参考書等	必要時、紹介する。										
受講者へのメッセージ	臨地指導後に、学部学生からは様々な反応があります。学生の反応から臨地での教育のあり方や方法について学んでください。										
備考	成人急性期看護学演習Ⅰの授業で参加する学部授業科目「成人看護方法Ⅳ」で学習する内容が教育実践上、必要な知識となる。 Covid-19の感染拡大の状況によっては、遠隔授業または課題学習となる場合がある。										
学 習 内 容											
【実習期間】 1週間を学内実習として、2週間を臨地指導の実習として行う。 同行する実習は、原則として本学学部3年生が履修する「成人看護学実習Ⅰ（急性）」とする。学部生は3つの医療機関に分かれて実習をするが、同行する医療機関は大学院生の居住地等から決定する。											
【学内実習】 学部生用の学生便覧およびシラバスから同行する実習について学習する。また、学部生を対象とした領域別実習オリエンテーションにも参加し、本科目担当教員や同行する実習の担当教員などの説明も受けながら、自身が同行する実習についての理解を深める。 また、看護専門職の先輩として学生からの質疑に回答できるよう、同行する実習が行われる病棟に入院する患者の疾患や治療・検査などの基礎的な内容を再学習して臨地指導実習に備える。											
【臨地指導実習】 1週目：実習担当教員の学生への指導の実際を見ながら、臨地実習における教育のポイント（実習初日の学生への対応、受け持ち患者の決定、受け持ち患者手術前後での学生への指導、実習記録や口頭による学生の思考の確認、臨地実習指導者との調整等）を学習する。学部学生のカンファレンスでは先輩看護師としての立場から学生にアドバイスを行う。学部生の学内演習日である水曜日には、本科目担当教員に実習状況や学びを報告し、教員から助言や指導をうける。 2週目：一部の学生の看護計画を点検し、必要なアドバイスを記述または口頭で提示する。また、学生の看護実践に同行し、安全・安楽に実践できるか監督しつつ、必要な助言を与える。											
【教育指導実践に関する記録類】 臨地教育実習での学びや教育的実践については、日々「臨地実習指導記録簿」に記載する。また、実習が終了した翌週に「臨地教育実習報告書」を本実習の総括を記載し、担当教員に提出する。											